

第3回 福岡市病院事業運営審議会 議事録

日時

令和5年8月21日（月） 16時00分～17時00分

場所

TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール メインホール A

会議次第

- 1 開会
- 2 委員紹介等
- 3 議事
 - (1) これまでの福岡市民病院のあり方検討内容
 - (2) 今後の審議の進め方について
 - (3) 福岡市民病院の施設・設備における現状と課題

議事録

- 1 開会

【事務局】

第3回福岡市病院事業運営審議会の開催にあたり、委員総数 14 名のうち 11 名の出席があり、病院事業運営審議会規則第7条第3項の規定により会議が成立することを報告。

また、福岡市情報公開条例に基づき、本審議会は原則公開となる旨を報告。

- 2 委員紹介等

委員の紹介及び配布資料について確認。

- 3 議事

- (1) これまでの福岡市民病院のあり方検討内容

【会長】

議事1「これまでの福岡市民病院のあり方検討内容」について、事務局から説明を求める。

【事務局】

<資料3（これまでの福岡市民病院のあり方検討内容）の説明>

<資料4（医療機能部会「報告書」概要）の説明>

【会長】

ただいまの説明について、ご質問をいただきたい。

<質問なし>

特に質問がないようなので、次に議事に進めたい。

(2) 今後の審議の進め方について

【会長】

議事2「今後の審議の進め方について」、事務局から説明を求める。

【事務局】

<資料5（今後の審議の進め方について）の説明>

【会長】

ただいまの説明について、ご意見やご質問をいただきたい。

【委員】

現在、各都道府県で策定中の医療計画では、6事業目として新興感染症発生・まん延時における医療についての記載事項が追加されたと認識している。

その検討の内容の中で、県内での各医療機関が果たすべき役割というものがある程度見えてくるのではないかと思うが、どのようなスケジュールで進んでいるのか。

また、運営・施設部会での検討内容や進め方、スケジュールはどのように考えているのか。

【事務局】

福岡県の医療計画は、現在、県で策定作業を行っている。新興感染症発生・まん延時における県と医療機関との医療措置協定については、締結に向けて各医療機関を把握、調査している状況であると聞いている。

また、今後の部会での検討の進め方については、市民病院に求められる役割や医療機能の検討結果を踏まえ、それを実現するための運営や施設のあり方をご検討いただくように考えているが、まずは現地での整備について、必要な規模や手法の検討から進めたいと考えている。

なお、スケジュールについては、令和5年度内に病院事業運営審議会へ検討状況を報告させていただきたいと考えている。

【会長】

他にご意見やご質問をいただきたい。

<意見なし>

特に意見がないようなので、質疑・応答は以上で終了したい。

事務局から補足で何かあるか。

【事務局】

具体的な部会委員の人選については、会長と相談をしながら選定をさせていただきたい。

【会長】

事務局から部会委員の人選についての提案がありましたが、皆さまいかがか。

<異議なし>

それでは、部会委員の人選については、私と事務局で候補者の選定をさせていただく。

(3) 福岡市民病院の施設・設備における現状と課題

【会長】

議事3の「福岡市民病院の施設・設備における現状と課題」について、事務局より説明を求める。

【事務局】

<資料6（福岡市民病院の施設・設備における現状と課題）の説明>

【会長】

ただいまの説明について、ご意見やご質問をいただきたい。

【委員】

様々な課題を抱えながらも、市民病院としての役割と機能を担っている医療関係者には感謝している。私は、スタッフや患者の動線が大切になると感じている。

また、退院時の共同指導を講堂で行っているなど、ハード面の課題をソフト面で一生懸命カバーしている。課題はたくさんあるが、ハード面もしっかりした建物にしていけるよう取り組んでいただきたい。

災害への対応であるが、ハザードマップでは、洪水や高潮の被害が想定されているが、現状やその対応について聞かせてもらいたい。

【事務局】

地下に降りるスロープの出入口等へ止水板を設置するなどの対応を行っているが、一旦浸水が発生すると地下が水没するため医療が提供できなくなる恐れがある。

【委員】

集中豪雨などはいつ発生してもおかしくないので、そのような災害にも対応した施設であるべきだと感じている。

【委員】

施設や各部門が古く、狭いということが分かった。動線に関してだが、感染症への対応で、動線が非常に問題だということは分かるが、感染症だけではなく、救急の動線についても重要だと感じている。

救急入口から入って、CT や MRI、できれば心臓カテーテルまでの検査を受けることができる動線が一番望ましいが、そのような情報が資料にはないので聞きたい。

【福岡市民病院】

現状、救急から各種検査室及び手術室、処置室に向かう完全な動線が確保できていない状態で、一般患者の動線と交差している。手術室が中央にあり、検査を行う諸室も一か所であるため、目的の場所に移動するときには、一般患者と交差してしまう状況である。

【委員】

来年は医師の働き方改革により、医師の人手不足が顕在化することが想定されるため、効率的な働き方ができるような施設にするということも非常に重要である。

【委員】

施設・設備の狭隘化や老朽化、構造上の制約については、おそらく古い病院はどこでも、このような制約がある状況で診療を行っているのが現状である。

一部の医療機能を止めて改修などができればいいが、なかなか難しいのが現状である。

私たちの病院でも、毎年多くの設備改修費をかけて改修などを行うが、今の市民病院が置かれている状況は多少お金をかけても改修などが困難な状況ではないかと感じている。

【福岡市民病院】

市民病院は、特に配管の老朽化がひどく、機器についても、古いことから部品が廃番になっていることもあるため、機器が故障しても修理ができないという状況になっている。

それから狭隘化については、特に外来、それから病棟の患者のベッド周りやナースステーション、手術部などが狭くなっており、かなり無理をしているというのが現状である。

また、外来などを見てもかなり密な状態であるため、今後の感染症への対応を考えていく上で、やはりあの狭い密な状態は好ましくないと感じている。

【委員】

リハビリの件数は平成 30 年度から令和にかけて減少傾向にあるが、外来、入院患者の推移は同じような傾向にあるのか。

【福岡市民病院】

外来患者に関しては、地域医療支援病院であるため、極力地域の医療機関への逆紹介を推進しており、外来患者数は減少傾向にある。入院患者に関しては、平成 30 年度まで増加傾向であったが、新型コロナの影響などもあり、リハビリと同じような傾向にある。

【委員】

福祉施設でも入所者やサービス利用者がいる中で全面改装するということはとても大変で、費用についてもかなり高くなったということがあったので、今の市民病院が建っている土地で、ということが可能なのかということが非常に大きな問題になるのではないかと思います。

【委員】

市民病院については、駐車場も手狭ではないかと思っている。特に朝の時間帯は、入庫待ちの車が車線を塞いでいる場面も見受けられる。

提携駐車場があるようだが、初めて来院する方はわかりにくいのではないと思うが、対応について教えていただきたい。

【福岡市民病院】

市民病院専用駐車場であることと提携駐車場の場所について、今年 3 月に看板を掲示し案内をするようにした。また、駐車場の誘導の職員もいるため、適宜、提携駐車場の方を案内するなどの対策を行っているところである。

【委員】

施設内部の様々な課題は理解できたが、現地での建替えが果たしてうまくいくのか心配している。現状を踏まえて、部会で議論を進めていただくこととなるが、せっかくなので夢とロマンをご検討いただきたい。

市民が市民病院に期待するものは、救急の動線や感染症対策についてもそうであるが、その時々にはふさわしい役割と機能をきちんと担うことができる新しい病院であり続けるということだと思うので、いろいろな夢とロマンを考えていただきたい。

ほかにも、運営や施設のあり方を検討するうえで、地域医療との関係は切っても切れないため、今の市民病院がある場所で、地域との繋がりや求められている役割をどのように次に生か

すのか、あるいは市内全体で地域医療を担っている様々な病院と連携しながら、市民病院がバランスを保ち、その核になるというような体制の検討も必要だと考える。

また、災害時に被災が少ない場所や洪水に耐えられる建物などに加え、市内全域の医療の中で、市民病院が役割をしっかりと担っていくための病院運営体制や施設について、是非とも検討をお願いしたい。

【委員】

私は医療現場に関しては、全く素人だが、ナースステーションへの電子カルテ端末の導入により、狭隘化が進んでいるという点については、現在使用しているノートパソコンを例えばタブレット端末でサーバーを共有すれば良いのではないかと思う。

また、医療現場は日進月歩であるため、平成元年の建物に最新の医療機器を導入しようとするとギャップが生じることから、それを解消する新たな病院を建てる必要があると切実に感じている。

【会長】

他にご意見やご質問はないか。

<意見なし>

それでは、今後の審議の進め方については、審議会の中に部会を設置し、そこで検討を行う。その後、部会からの報告を踏まえ、本審議会で議論を行う。

なお、部会委員の選定については、私と事務局で整理し、結果を報告させていただく。

閉会